

ミスミグループ本社 2013年3月期 第2四半期累計 連結業績

～世界経済の不透明感が高まる中、国際市場を牽引役に成長を継続～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2013年3月期 第2四半期（2012年4月1日～2012年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

【決算ベース】

(百万円)	2012年3月期 第2四半期累計	2013年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	63,163	64,977	+2.9%
営業利益	8,126	8,186	+0.7%
純利益	4,779	4,028	▲15.7%
1株当たり純利益	53.29円	45.06円	

【事業売却に伴う実質ベース】

(百万円)	2012年3月期 第2四半期累計※	2013年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	61,489	64,977	+5.7%
営業利益	8,120	8,186	+0.8%
純利益	4,773	4,028	▲15.6%

※2012年3月期第2四半期累計実績から事業売却したプロミクロスの業績を控除

<2013年3月期 第2四半期累計の連結業績ハイライト>

1. 世界経済成長の減速下、グローバル市場におけるミスミ事業モデルの浸透により前年同期比で増収・営業増益

- 2013年3月期 第2四半期の売上高は649億円、前年同期比2.9%の増収となり、上半期として過去最高を更新しました。なお、昨年度業績から本年5月に売却したプロミクロスの業績を控除して比較した場合、売上高は前年同期比5.7%の増収となります。
- 欧州経済低迷の継続、中国をはじめとするアジア経済成長の鈍化、国内経済の停滞など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした環境下、グローバル市場においてミスミ事業モデルの浸透に向けた取り組みを強化した結果、前回予想売上高670億円を下回ったものの、海外を牽引役に引き続き増収を達成することができました。
- 営業利益は81億円、前年同期比0.7%の増益となりました。国際展開の加速に向けた先行投資負担の増加を、売上高の増加および原価率の改善努力などにより吸収し、前年と同水準の利益を確保できました。
- 純利益は、期初の段階では織り込んでいなかった子会社の厚生年金基金脱退に伴う9.8億円の特別損失の発生があったため、40億円（同▲15.7%）となり前回予想純利益47億円を下回りました。

2. 全セグメントで増収

- 当第2四半期累計のセグメント別売上高は、自動化事業 418 億円(前年同期比+6.6%)、金型部品事業 146 億円(同+9.6%)、エレクトロニクス事業 61 億円(同+3.5%)、その他事業 33 億円(同+9.6%)、と引き続き全セグメントで伸長しました。

3. 海外売上高比率は 31.0% (前年同期比+2.5pt) と過去最高を更新

- 国際市場におけるミスミ事業モデルの浸透、顧客数の拡大を背景に、当第2四半期累計の海外売上高は 201 億円(同+12.1%、現地通貨ベース+14.7%)、海外売上高比率は 31.0%(同+2.5pt)となり、いずれも半期として過去最高を更新しました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高(百万円)		前年同期比		
	2012年3月期 第2四半期累計	2013年3月期 第2四半期累計	増減率	現地通貨 ベース	事業売却に伴 う実質ベース
日本	45,175	44,812	▲0.8%	—	+3.0%
海外	17,988	20,164	+12.1%	+14.7%	—
アジア	7,413	8,001	+7.9%	+12.8%	—
中国	6,279	7,202	+14.7%	+12.4%	—
北米・南米	2,477	3,050	+23.2%	+23.7%	—
欧州	1,818	1,909	+5.0%	+18.4%	—

- 今後もグローバル市場におけるミスミ事業モデルの更なる浸透をはかり、成長の牽引役である国際事業を拡大してまいります。

4. 配当性向 25%基準を継続し、前期比増配

- 当社は配当性向を基準に配当を決定しているため、利益の変動により配当額が増減いたします。今中間期の配当性向は 24 年 3 月期期末に 20%から 25%に引き上げた水準を保っています。
- 当第2四半期累計の純利益は、期初の段階では織り込んでいなかった子会社 3 社の厚生年金基金脱退に伴う特別損失の発生により、前回発表予想を下回りました。これに伴い一株当たり中間配当金は配当性向 25%を維持するものの、前回予想を 1 円 91 銭下回る 11 円 25 銭とさせていただきます。前期実績に対しては 1 円 5 銭の増配となります。
- 期末配当予想につきましても配当性向 25%を継続するものの、通期連結業績見通しを修正したことに伴い、一株当たり期末配当金は前回予想を 1 円 39 銭下回る 13 円 5 銭に修正いたしました。前期実績に対しては 5 銭の増配となる見込みです。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	13 円 16 銭	14 円 44 銭	27 円 60 銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	13 円 05 銭	24 円 30 銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
当期実績	11 円 25 銭	—	—
前期実績	10 円 20 銭	13 円 00 銭	23 円 20 銭
配当性向	19.2%	25.0%	22.1%

5. 2013年3月期連結業績予想を修正

- 足元の業績動向と世界経済の先行不透明感の高まりを受け、2012年5月17日公表の通期業績予想を以下の通り修正いたします。
- なお、今回の修正後においても、売上高は前年比増収を維持し2期連続で過去最高を更新する見通しです。

2013年3月期 連結業績予想（2012年4月1日～2013年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	138,000	17,000	17,000	9,850	110.31
今回修正	132,000	16,550	16,350	8,700	97.25
増減	▲6,000	▲450	▲650	▲1,150	—
前年実績	130,212	16,646	17,056	9,414	105.14

※ 10月17日公表の米国金型部品メーカー買収は、米国での法定手続きなど本買収に必要な手続きを経た上、2013年3月期第3四半期中に完了する予定です。そのため、現時点において本買収による業績への影響額が未確定であるため、上記業績予想には織り込んでいません。

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2013年3月期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、国内および諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社および当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社および当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2013年3月期 第2四半期の当社連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372 mail : cc@misumi.co.jp</p>
